

DAS

体験型の「コト消費」が人気を集める中で、DAS（横浜市）は街を歩きながら謎解きをする「リアル謎解きゲーム」で若者らの心をつかんでいる。自治体や企業と連携し、新作を相次ぎ投入。ゲームの開催地では若者や親子連れなどの参加者が街を回遊する姿が見受けられる。国内で事業基盤を固めつつ、一層の成長を求めて海外にも挑む。

2017年末、大さん橋近くの象の鼻防波堤（横浜市）で親子3人がスマートフォン（スマホ）を見つめながら喜び合っていた。遊んでいたのはDASが制作したリアル謎解きゲーム

神奈川のエンジン

神奈川

100種類以上の作品を手掛けてきた



リアル謎解きゲーム

「コト消費」で地域盛り上げ

「ミライ物語」。みなどみ キットを購入し、アプリをら（MM）21地区や馬車道、横浜中華街などを巡りながら、スマホに映し出される謎を解いていく。専用

「ミライ物語」。みなどみ キットを購入し、アプリをら（MM）21地区や馬車道、横浜中華街などを巡りながら、スマホに映し出される謎を解いていく。専用

《会社概要》

▽本社	横浜市中央区日本大通52番地 ロイヤーズビル6F
▽創業	2012年
▽売上高	5000万円 (2017年3月期)
▽従業員数	9人

ほど苦戦したが、開始から7時間ほどでクリアした。意外と知らない街のスポットに出合え、他の参加者らしき人たちともすれ違っ

た。関東にとどまらず、14年には関西にも進出。当日限定のイベントとして、時の英語版を投入。「まだ利間制の謎解きゲームも実施している。参加者のアンケートなどを踏まえ、作品に盛り上げていきたい」と小川社長は意気込む。

小川真輔社長（35）は富士通の営業マンとして6年ほど勤めた後、12年に脱サラ。11年の東日本大震災で国内のムードが暗くなっていくのを目の当たりにし、「自分がとても無力に感じた」。もともと独立志向もあつたため「まずは地域を盛り上げていきたい」との思いで創業に踏み切った。

今後は海外進出も視野に入れている。小川社長は「リアル謎解きゲームは未経験者が多し。魅力的な作品づくりや、外国人客の取り込みを力を入れている。17年4月に発売した東京・丸の内でのリアル

横浜支局 045-2201-2555
川崎支局 044-2201-7793